

美馬市人口ビジョン

人口減少にブレーキ 人口の将来展望 2060年に2万人の確保をめざす

2020年以降転入数と転出数が均衡するとともに、合計特殊出生率が上昇(2025年:1.8, 2030年以降:2.1)する。

現状分析

- **人口の推移**
 - ・総人口は一貫して減少傾向にあり、全国平均や徳島県平均よりも著しい減少。
 - ・自然減少が拡大基調。人口減少の要因として社会減から自然減にシフト傾向。
- **人口動態(自然増減)**
 - ・合計特殊出生率は国、県と同水準にあるが、近隣市町と比べるとやや低い水準。
- **人口動態(社会増減)**
 - ・減少幅は小さくなっているものの、若年層の大幅減が続いている。
 - ・転入は西部から、転出は東部への傾向。
- ・人口減少に歯止めをかけないと、2060年には総人口は2010年の4割程度となり、人口に占める高齢者が約5割の社会となる見通し。

人口の推計

目指すべき将来の方向

① 雇用の創出と所得の増加

大塚製薬(株)の工場立地などの機会が活かされ、かつ、豊かな地域資源の活用により、製造業や農・林業、観光業等の基盤産業において雇用が創出され、所得が増加する。

小売業や対個人サービス業など、非基盤産業の雇用が創出され、所得が増加する。

② 若い世代の地元定着と中・高齢層の「ふるさと回帰」

若い世代の転出抑制や転入促進、中・高齢層の「ふるさと回帰」などで新たな人の流れができる。

③ 若い世代の将来への希望と出生率の向上

若い世代が将来に希望を持てるようになり、結婚・出産・子育ての環境が整えば、出生率が向上する。

④ 若い世代の定着による地域経済の活性化

若い世代が地域に定着すると、地域経済が活性化する。

美馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略[H27~H31]

◎ 「美馬市人口ビジョン」で描く将来展望に向け、**人口減少問題の克服と持続可能な地域づくり**に向けた施策の方向性を位置づける計画。

攻め

◎ 第2次美馬市総合計画との整合を図り、「しごと」と「ひと」の好循環を「まち」が支える関係を構築。
人口減少問題の克服に果敢に挑みつつ、人口減少の市民生活への影響を最小限に留める取組を併せて行う。

しごと

本市にしごとをつくり、雇用の創出や所得の増加を実現する

- ・工場立地推進等による雇用創出
- ・市民が起業・創業しやすい環境整備
- ・農・林業における付加価値の向上と販路拡大、基盤整備による生産コスト削減
- ・「儲かる」観光の追求
- ・地域資源を活用した新産業の創出

目標

- ・**製造業新規雇用創出者数: 延べ200人**
- ・**起業・創業者数: 延べ45人**
- ・市内産直施設売上額: 315,000千円
- ・市産木材年間搬出量: 27,000m³
- ・市内観光入込客数: 800,000人
- ・市内宿泊施設宿泊者数: 65,000人

【主な施策(具体的な事業)】

- 美馬市産業振興ビジョン策定事業
- 空き家・空き店舗・廃校校舎活用起業・創業支援事業
- 「かあちゃん野菜」生産・販路拡大事業
- にし阿波「日本版DMO」構築推進事業〔広域連携〕
- 竹木活用バイオマス発電支援事業

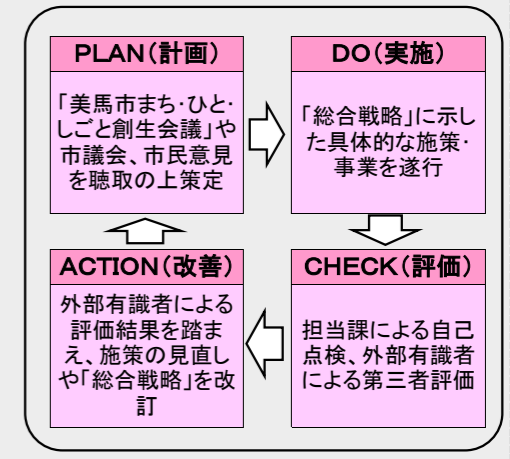


▲順調に進む里平野・横尾工場用地造成



▲「かあちゃん野菜」販売の様子

PDCAサイクルのイメージ



◇「美馬市まち・ひと・しごと創生会議」 「産・官・学・金・労・言」の各界代表者に地域住民代表を加えた構成

「しごと」と「ひと」の好循環

ひと

本市への新しいひとの流れをつくる

- ・進学、就職、結婚をターゲットにした転出抑制・転入促進
- ・子育て世代に選ばれる教育環境の整備
- ・移住・定住の促進と移住創業しやすい環境整備
- ・市出身者等との「つながり」をつくる取組の継続
- ・イベントの開催を通じた賑わいづくりと「美馬市ファン」の獲得

目標

・**転出超過数: 2020(H32)年までに0(転入転出数を均衡)**

【主な施策(具体的な事業)】

- 新規雇用奨励金支給事業(1,000→4,000万円へ上限引上げ) ▼デジタル教科書を全小・中学校に展開
- 高校生地元就職応援事業(資格取得費助成)
- UIJターン促進奨学金返還金助成事業
- 新婚世帯家賃補助事業
- 移住創業支援事業
- サテライトオフィス誘致事業
- 「美馬市まほろばファン倶楽部」事業 (同窓会開催支援を通じた美馬市ファンの獲得)



結婚・出産・子育て

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・若い世代の雇用や子育て世代の「働きやすい」環境整備に対する支援
- ・「一歩踏み込んだ」婚活支援の展開
- ・妊娠～出産～育児までの一貫したサポート体制の確立

目標

・**合計特殊出生率: 2020(H32)年までに1.5**
・**年間出生者数: 2020(H32)年までに200人**

【主な施策(具体的な事業)】

- 「子育て支援企業表彰」事業
- まほろばめぐりあい(婚活)事業
- 不妊治療費助成事業(美馬市こうのとり応援事業)
- 多機能型子育て支援センター事業
- 放課後児童クラブ整備・利用料軽減事業
- 育児用品購入補助・レンタル料金助成事業
- 満1歳誕生記念品事業(ウッドスタート)
- 「第3子以降オールフリー」宣言事業 (保、幼、小・中学校に直接必要な経費の無料化)



▲満1歳誕生記念品の贈呈



▲美馬認定こども園イメージ

「まち」が支える

守り

まち

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ・市民ボランティア活動への支援等「共創・協働」の推進
- ・コミュニティ活性化と中山間地域等の生活支援
- ・シニアパワーの活用を通じた中・高齢層の移住受入れ・住替え支援
- ・健康・長寿の実現に向けた取組
- ・人口減少に対応した公共施設の統廃合と「コンパクトシティ」の展開

【主な施策(具体的な事業)】

- 「集落ネットワーク圏」による「小さな拠点」形成事業
- 農産物等集出荷・買い物支援事業
- シニアパワーの活用を通じた「生涯活躍のまち」づくり事業
- 農都・食農連携アンチエイジング推進事業
- 美馬市版「コンパクトシティ」拠点としての地域交流センター(パルシー)整備事業



▲消防団による支障木の伐採



▲木屋平地区「小さな拠点」となる旧木屋平中